

講義名	マクロ経済学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	竹内 信行		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	52052

### 主題と概要

マクロ経済学は、多種多様な経済活動を例えば「日本経済」というような国単位の大枠で捉え、「景気のよし悪しはどう決まる?」「各経済政策の有効性は?」といった問題について考える学問です。そのため、マクロ経済学を学習することは新聞等で取り上げられる経済事情や経済政策を正しく理解する手助けになります。

本講義では、そうしたマクロ経済学の第一歩としてマクロ経済学の基本的な考え方の習得を目指します。また、実際のデータやニュースの話題を適宜、取り上げ、日々の経済ニュースや日本経済の現状・その歴史について理解が深まるよう工夫していきます。

取り扱う内容には複雑で難解な面もありますが、丁寧な解説を心がけ、楽しく学んでいけることを目標にします。くわえて公務員試験受験を考えている学生に対し、経済系科目学習のスタートアップを提供することも目標の一つとします。

### 到達目標

マクロ経済学の基本的な知識の習得を目指します。具体的には以下の諸点を目標とします。

- マクロ経済学の考え方に慣れる
- GDP や物価指数といったマクロ経済指標が何であるか、説明できるようになる
- マクロ経済学で考える 4 つの市場とそのつながりについて理解する
- マクロ経済学における長期と短期の違いを理解する
- 経済政策の必要性と、財政政策・金融政策の役割についてそれぞれ説明できるようになる

### 提出課題

毎講義終了時に、講義に関する感想・質問等を記載してもらいます

### 評価の基準

- 定期試験 : 40 %
- 中間試験 (もしくは複数回行う小テスト) : 40 %
- 日常点 (授業中の質問や発言を評価) : 20 %

### 履修にあたっての注意・助言他

- 「バツと聞いて分かる」というよりは「じっくり考えてから分かる」ことが多い学問です。そのため、授業内容の理解には「根気」と「努力」が必要になります
- 講義の内容上、数式や図表を用いることが多くなります。それにともなって必要となる数学については適宜、説明を行います
- 毎回の講義は、連続ドラマのようにそれまでの講義内容を前提とした「続き物」になっています。そのため、講義内容が途中で分からなくなると、講義自体がつまらなく辛い時間になってしまいます。大学の講義は皆さんにとって初めて聞く内容が大半であり、最初から分からないのは当たり前です。恥ずかしがらずに積極的に質問をし、疑問点は早めに解消していきましょう

### 教科書

.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

ハンドアウトを配布するため、教科書は特に必要ありません。しかしハンドアウトだけでは不安な方は、下記にあげる参考文献の中から自分にあったものを用意してください。

- 平口良司・稲葉大『マクロ経済学 - 入門の「一歩前」から応用まで』有斐閣, 2015年。
- 伊藤元重『マクロ経済学 第2版』日本評論社, 2012年。
- 吉川洋『マクロ経済学 第4版 (現代経済学入門)』岩波書店, 2017年。
- 中谷巖『入門マクロ経済学 第5版』日本評論社, 2007年。

### 授業計画

第1回 マクロ経済学は経済活動をどうとらえるのか? ~ マクロ経済循環入門~

第2回 マクロ経済指標の見方 (1) 様々なマクロ経済指標

第3回 マクロ経済指標の見方 (2) GDP とは何か?

第4回 マクロ経済指標の見方 (3) 三面等価の原則

第5回 マクロ経済指標の見方 (4) IS バランスとマクロ経済

第6回 マクロ経済指標の見方 (5) 物価に関する指標

第7回 マクロ経済指標の見方 (6) 物価指数に関する様々なトピックス

第8回 これまでのまとめと確認: 中間試験

第9回 マクロ経済学における「長期」と「短期」

第10回 経済政策の必要性

第11回 GDP の大きさはどう決まるのか? 【45度線分析入門】 (1) 消費について

第12回 GDP の大きさはどう決まるのか? 【45度線分析入門】 (2) 投資について

第13回 GDP の大きさはどう決まるのか? 【45度線分析入門】 (3) 均衡国民所得の決定

第14回 財政政策の役割と乗数効果

第15回 金融政策の役割とその効果

受講生の理解度によっては進度が遅れたり授業計画を変更したりする可能性があります

### 予習・復習

講義内で使用したハンドアウトや配布する練習問題を用いて、しっかり復習してください。特に、授業等を通して人から教えてもらっただけでは「分かった気」になってしまい、いざという時に学習した事を生かすことができません。内容をしっかり理解するには「その内容を他の人に説明できるようになる」ことを目指して復習することが大切です。

### 備考